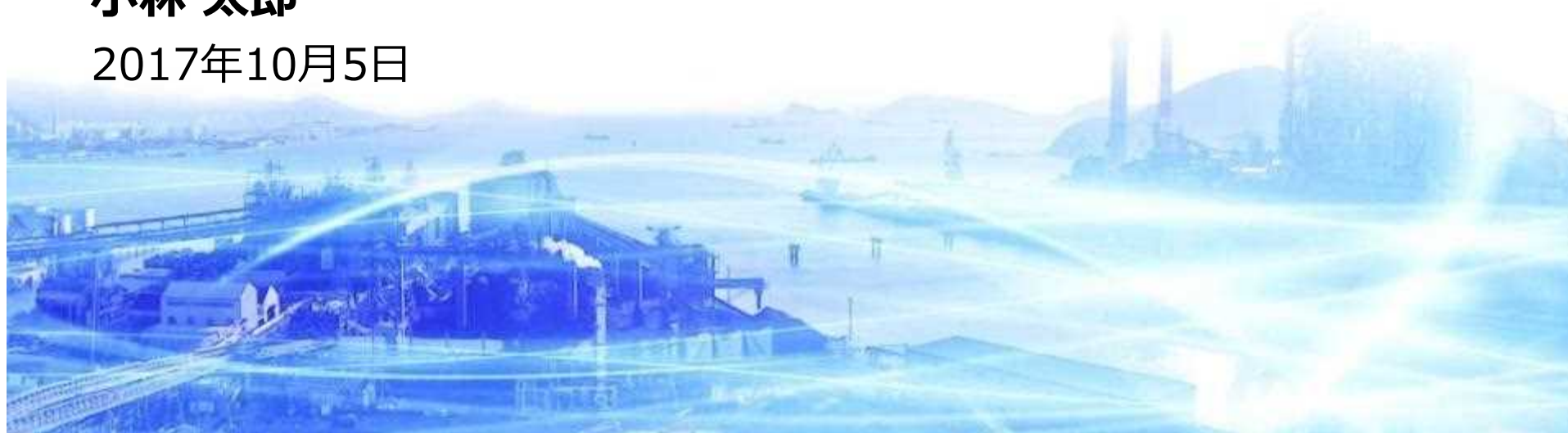


個人投資家様向け会社説明会

株式会社**トクヤマ**（証券コード：4043）

経営企画室 広報・IRグループリーダー
小林 太郎

2017年10月5日



CONTENTS

—説明内容—

- 1 会社の状況
- 2 会社概要
- 3 中期経営計画

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1 会社の状況

1. 株価及び出来高推移
2. 子会社（トクヤママレーシア）の譲渡完了
3. 業績ハイライト（2017年3月期）
4. 業績予想（2018年3月期）
5. 配当について
6. 単元株式数の変更と株式併合について



1. 株価及び出来高推移



2. 子会社（トクヤママレーシア）の譲渡完了

2017年5月31日にトクヤママレーシア株式の韓国OCI社への、第3者割り当てによる新株発行及び当社保有の全株式の譲渡を完了。

譲渡完了に伴い、2018年3月期の6月よりトクヤママレーシアを連結より除外。

譲渡損として80億円の特別損失を計上。

3. 業績ハイライト (2017年3月期)

連結

売上高	2,991 億円	前年同期比 $\Delta 3\%$
-----	----------	--------------------

営業利益	385 億円	前年同期比 $+72\%$
------	--------	---------------

親会社株主に帰属する 当期純利益	521 億円	前年同期比 $-$
---------------------	--------	-----------

売上高営業利益率	13.3 %
----------	--------

1株当たり当期純利益 (EPS)	147.78 円
------------------	----------

1株当たり純資産 (BPS)	305.49 円
----------------	----------

売上高は、多結晶シリコンなどの販売数量増により増収となりました。
営業利益は、資源価格安によるコスト減等により増益となりました。
当期純利益は、経常利益の増加及び特別損益の改善等により黒字転換となりました。

4. 業績予想（2018年3月期） 連 結

※2017年4月28日公表

売上高	3,000 億円	前期比	+8%
-----	----------	-----	-----

営業利益	360 億円	前期比	△7%
------	--------	-----	-----

親会社株主に帰属する 当期純利益	130 億円	前期比	△75%
---------------------	--------	-----	------

売上高営業利益率	12.0 %
----------	--------

1株当たり当期純利益 (EPS)	32.70 円
------------------	---------

5. 配当について

剰余金の配当は、3月末日及び9月末日の最終の株主名簿に記載された株主の方を対象に実施しています。

今期（18年3月期）の配当予想につきましては、18年3月期以降の業績が中期経営計画に沿った利益計画の見込みであることから、中間配当より復配を予定しております。

	2012年度	2013	2014	2015	2016	2017予
中間配当金（円）	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	(2.0)
期末配当金（円）	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	(10.0)
配当性向（%）	—	20.4	—	—	—	(10.9)

（注1） 2012年度の配当性向については、当期純損失であるため記載しておりません。

（注2） （）内の数値は、予想値です。

（注3） 2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合いたしました。

6. 単元株式数の変更と株式併合について

単元株式数の変更

全国証券取引所が2018年10月1日までに普通株式の売買単位（単元株式数）を100株に統一することを目指していることより、当社普通株式の単元株式数を2017年10月1日より1,000株から100株に変更いたしました。

株式併合について

単元株式数の変更と併せて、投資単位（株価×単元株式数）を証券取引所が望ましいとしている水準の5万円以上50万円未満に調整することを目的として、株式併合（5株を1株に併合）を実施しました。

※株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主の皆様に対して、端数の割合に応じて分配しております。



2 会社概要

1. 概要
2. 沿革
3. 事業ポートフォリオ
4. 競争力の源泉～徳山製造所
5. 暮らしの中のトクヤマ



1. 概要

創立

1918年2月16日

所在地

東京本部

東京都千代田区外神田1-7-5
フロントプレイス秋葉原

徳山製造所（本店所在地）

山口県周南市御影町1-1

代表者

よこた ひろし
横田 浩

資本金

100億円 （2017年6月末現在）

従業員数

5,406名
（2017年3月末現在、連結ベース）

連結売上高

2,991億円 （2017年3月期）

証券コード

4043 （化学）
（2012年9月より日経平均銘柄）

株式売買単位

100株



東京本部

2. 沿革

2018年 創立100周年



創業者 岩井勝次郎

岩井商店（現 双日）が設立した代表的な会社（最勝会）
日新製鋼、ダイセル、富士フイルム、トクヤマ、
関西ペイント、日本橋梁、トーア紡、日本発条



スペシャリティー・加工型事業
(多結晶シリコン他)

石油化学 (塩化ビニル樹脂他)

ソーダ専業(ソーダ灰)

無機総合化学 (セメント、苛性ソーダ他)

社名

ソーダ
日本曹達工業

ソーダ
徳山曹達

トクヤマ

年

1918

1920

1930

1936

1940

1950

1960

1970

1980

1990

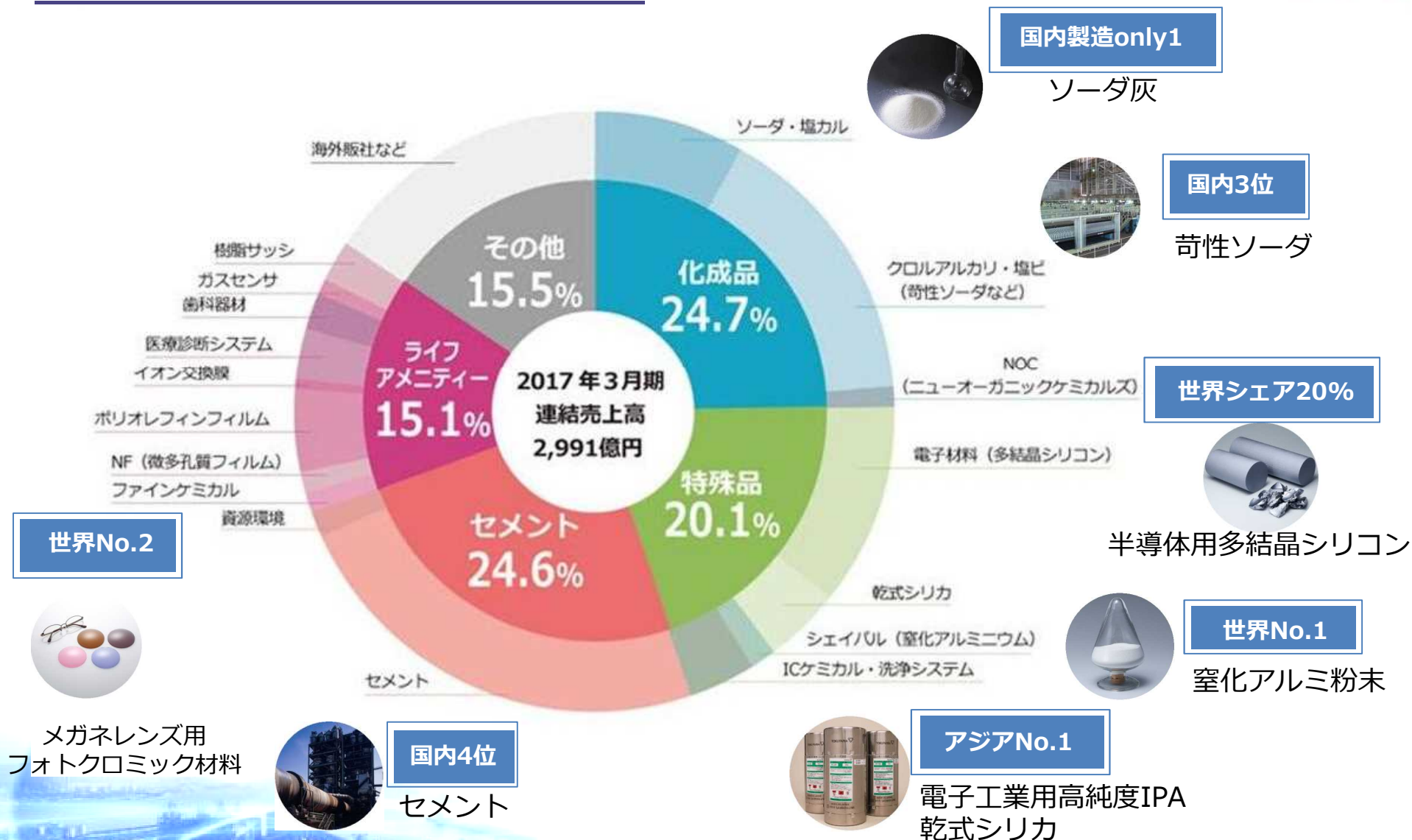
1994

2000

2010

2018

3. 事業ポートフォリオ



4. 競争力の源泉～徳山製造所

無機・有機化学、セメント、電子材料などの工場が複合的に集積し、原料・製品・副産物・廃棄物を相互に有効活用できるインテグレーションを形成



5. 暮らしの中のトクヤマ（屋内編）



情報・電子分野

- ・多結晶シリコン（半導体）
- ・窒化アルミニウム（放熱材）
- ・乾式シリカ（複写機用）
- ・高純度IPA（半導体用洗浄剤）



生活・医療分野

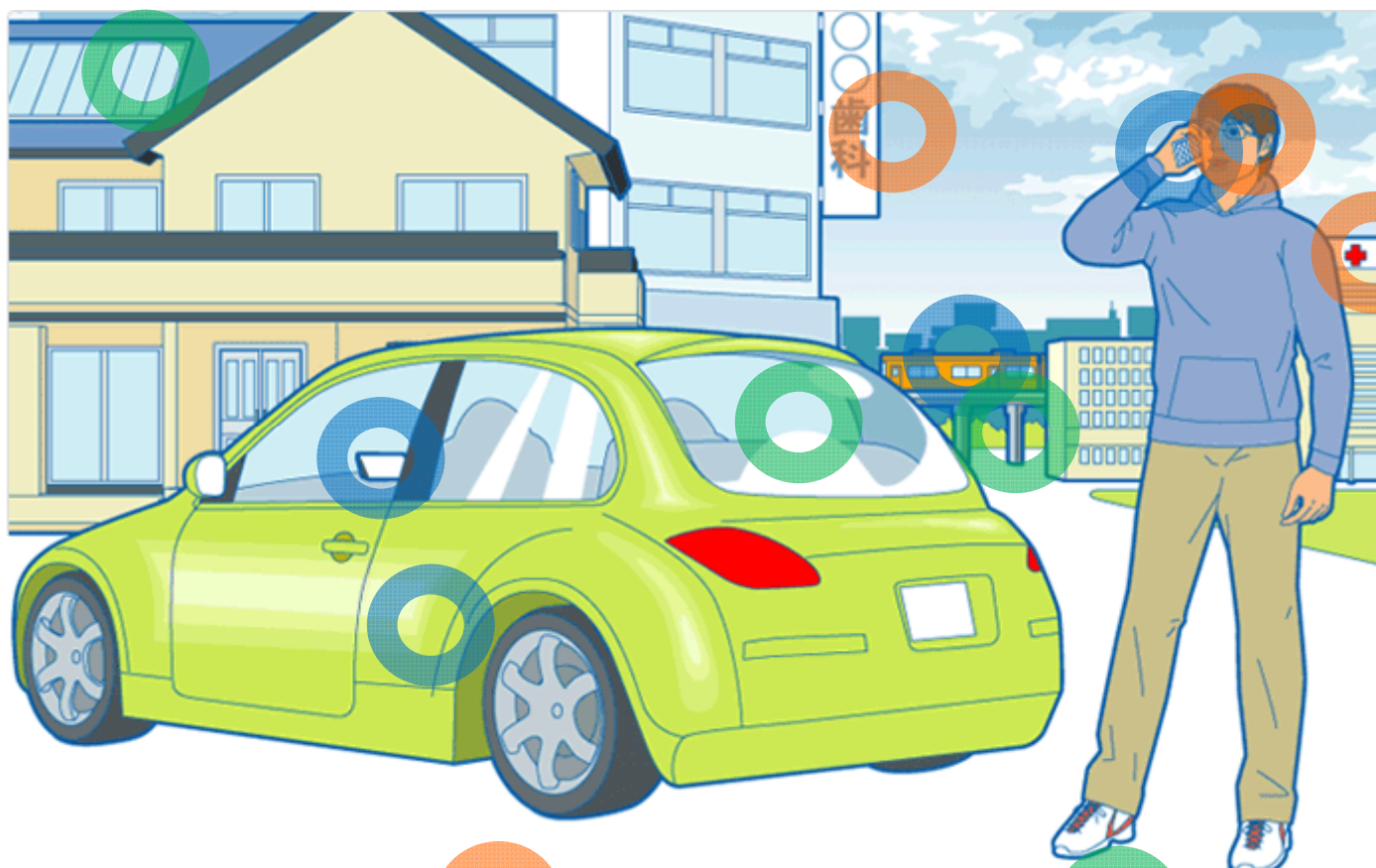
- ・微多孔質フィルム（紙おむつ）
- ・ポリオレフィンフィルム（食品包装用フィルム）
- ・医薬品原薬・中間体（医薬品）
- ・塩化カルシウム（除湿剤）
- ・ガスセンサ（ガス漏れ警報器）



環境・エネルギー分野

- ・イオン交換膜（リチウム製造、製塩）
- ・樹脂サッシ（建材）

5. 暮らしの中のトクヤマ（屋外編）



情報・電子分野

- ・多結晶シリコン（半導体）
- ・窒化アルミニウム（放熱材）
- ・乾式シリカ（半導体用研磨剤）
- ・高純度IPA（半導体用洗浄剤）



生活・医療分野

- ・プラスチック眼鏡レンズ材料（めがね）
- ・医療診断システム・試薬（医療機器）
- ・歯科器材（歯科医療）
- ・苛性ソーダ（製紙、廃水処理他）
- ・塩化カルシウム（融雪剤）



環境・インフラ分野

- ・セメント（建材）
- ・塩化ビニル樹脂（建材）
- ・ソーダ灰（ガラス窓）

3 中期経営計画

- 1. 経営方針**
- 2. 目標指標**
- 3. 特有技術と重点分野**



1. 経営方針

中期経営計画 ～再生の礎～

計画の位置づけ	目指す姿への通過点として、当計画により再生の礎を構築する 期間： 2016年4月1日～2021年3月31日
重点課題	①組織風土の変革 ②事業戦略の再構築 ③グループ経営の強化 ④財務体質改善

目指す姿

成長事業

〔 特殊品、ライフマテリアル、新規事業 〕

『特有技術で先端材料の
世界トップになる』

- ・顧客ニーズを徹底理解し、特有技術でニーズに応える

伝統事業

〔 化成品、セメント 〕

『競争力で
日本トップになる』

- ・汎用品市場で勝ち抜く
- ・貪欲に効率を追求する事業体

2. 目標指標

2025年度に目指す姿に向けた通過点として、2020年度の経営数値目標を設定

中期経営計画の目標数値

		2015年度		2020年度 目標値
売上高		3,071億円	量より質を重視	3,350億円
営業利益		230億円	高付加価値品シフトとコスト削減	360億円
ROA		5.7%	徳山製造所の潜在力の顕在化	10%
	売上高 営業利益率	7.5%	貪欲に効率化を追求	10%
	総資産回転率	0.77回転	定修期間短縮等による改善	1.0回転
財務指標	CCC	69日	在庫削減、取引条件改善	55日
	D/Eレシオ	4.7倍	利益蓄積と外部資本による改善	1倍

注：CCC(キャッシュコンバージョンサイクル): 売掛債権回転日数 + 棚卸資産回転日数 - 買入債務回転日数、

ROA：営業利益/総資産で算出

(前提条件)
為替：110円/US\$
国産ナフサ価格：58,000円/kl

3. 特有技術と重点分野

先端分野において培ってきた特有技術を活用し、社会のニーズに応える製品開発を行います



先端分野で培ってきたトクヤマの特有技術



2018年3月期第1四半期

連 結

売上高

724 億円

前期比 △1%

営業利益

84 億円

前期比 △9%

親会社株主に帰属する
当期純利益

△81 億円

前期比 ー

売上高営業利益率

11.7 %

1株当たり当期純利益 (EPS)

△28.09円

1株当たり純資産 (BPS)

279.99円

売上高は、主力製品を中心に販売が堅調だった一方、トクヤママレーシア及びフィガロ技研の連結除外等により微減収となりました。
営業利益は、原燃料価格の上昇に伴う製造コスト増加等により減益となりました。

財務状況

連 結

(億円)

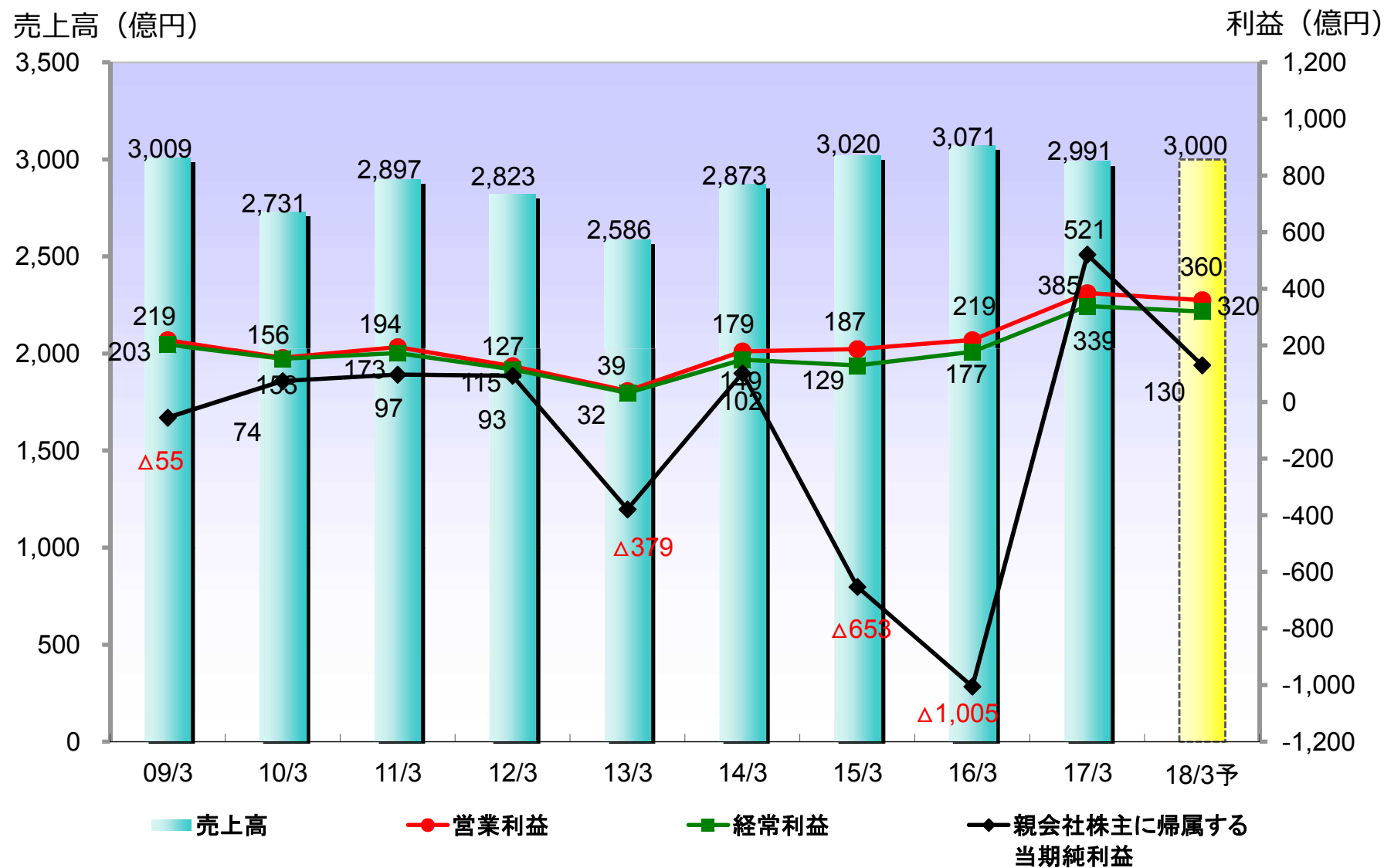
	2016年 3月末	2017年 3月末	増 減
総資産	4,013	4,244	+230
自己資本	514	1,270	+755
自己資本比率	12.8%	29.9%	+17.1ポイント
有利子負債	2,441	2,139	△301
D/Eレシオ	4.74	1.68	△3.06
ネットD/Eレシオ*	2.38	0.73	△1.66
1株当たり純資産 (円)	147.98	305.49	

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本



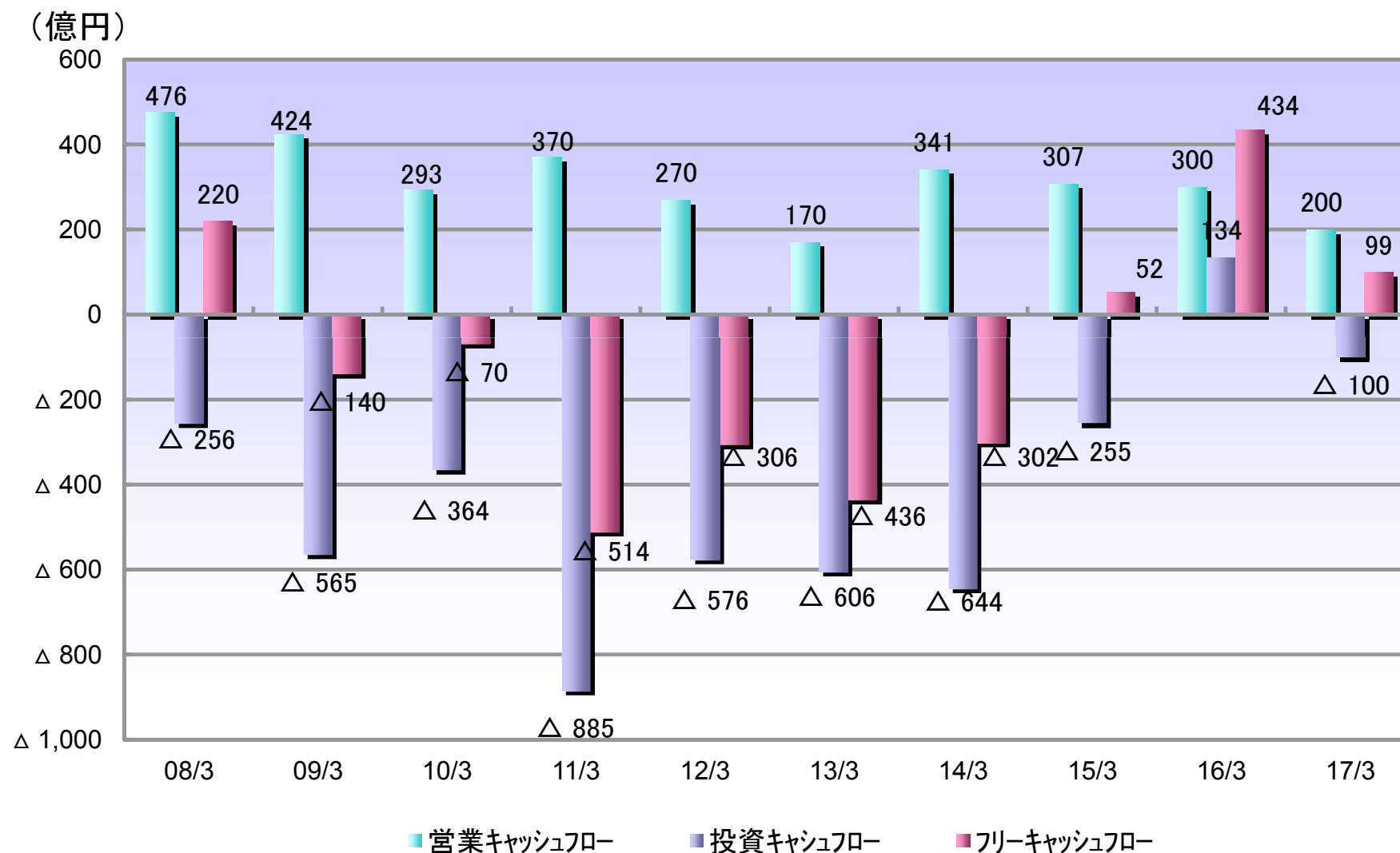
業績推移

連 結



フリーキャッシュフロー推移

連 結

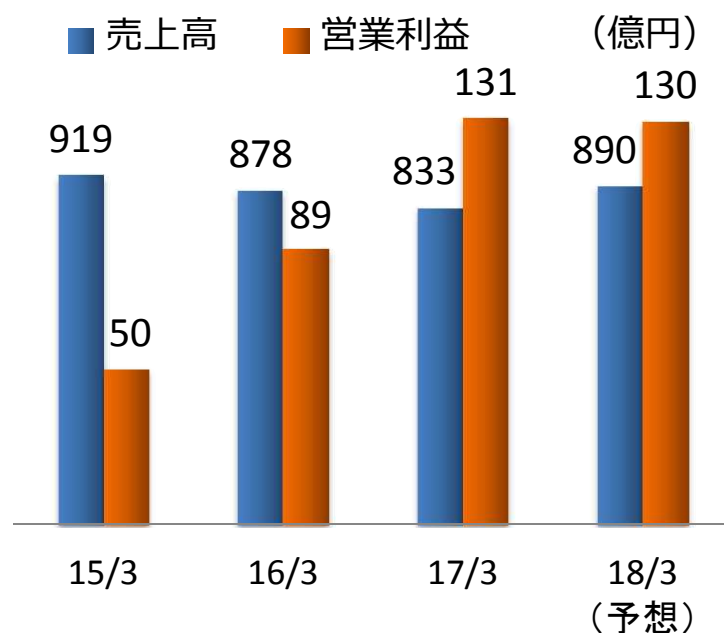


セグメント別事業内容・売上高・営業利益

化成品

皆様の暮らしに欠かせない様々な原料となる基礎化学製品を取り扱っています。1918年の創業以来の事業であるソーダ灰、「煙突のあるところには必ず使用される」と言われる苛性ソーダ、塩素誘導品などの製品は非常に幅広い用途を持ち、各産業において必要不可欠なものになっています。

直近の業績推移



主な製品と用途

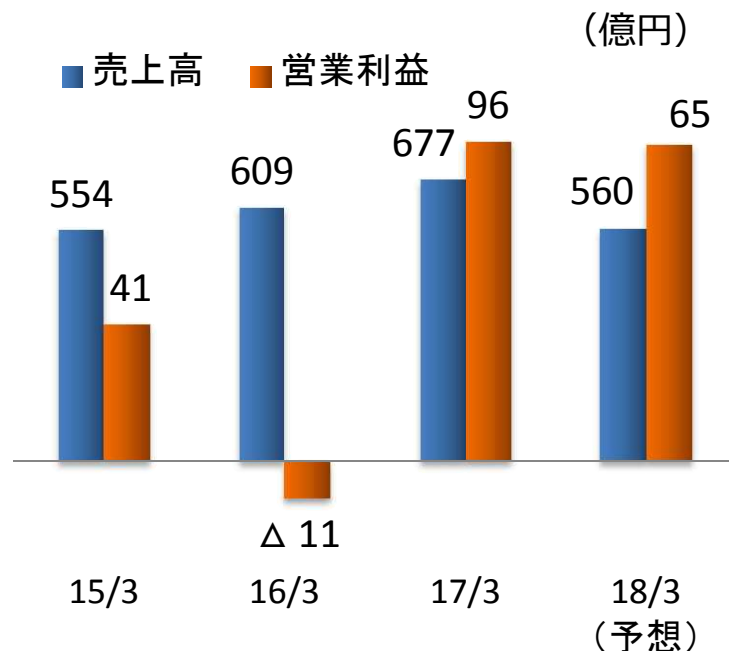
主な製品	主な用途
ソーダ灰	ガラス原料・石けん・洗剤原料・食品添加物
塩化カルシウム	凍結防止剤
苛性ソーダ	製紙（パルプの溶解、漂白）等の製造工程で使用
塩素系誘導品	塩ビモノマー、ウレタン原料
工業用イソプロピルアルコール（IPA）	塗料・インキ溶剤 有機合成原料

セグメント別事業内容・売上高・営業利益

特殊品

製品分野はエネルギー、エレクトロニクス、環境など多方面に渡っています。
例えば半導体や太陽電池に使われる高純度多結晶シリコンは、世界有数のシェアを持っています。放熱性という特徴を持つ窒化アルミニウムは、半導体の製造装置をはじめ、インバーター、LEDなどの省エネルギー分野でも利用されています。

直近の業績推移



主な製品と用途

主な製品	主な用途
多結晶シリコン	半導体ウエハの原料
乾式シリカ	シリコーンゴム用補強充填剤 塗料・接着剤などの 液状製品の垂れ防止
窒化アルミニウム	半導体製造装置用部材 放熱素材、基板材料
電子工業用高純度IPA	半導体、ガラス基板など 電子デバイスの洗浄、乾燥
メタクレン	金属加工工程における油分除去

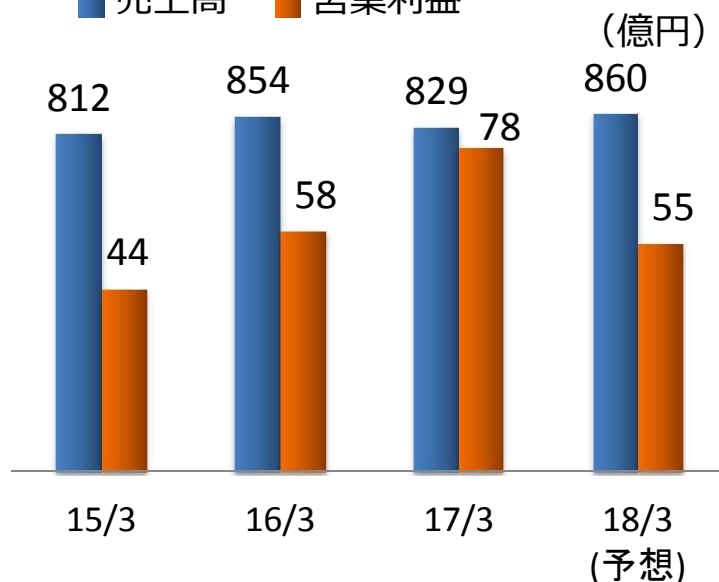
セグメント別事業内容・売上高・営業利益

セメント

セメントは、生コンクリートやコンクリート二次製品に形をかえ、住宅・ビル・ライフラインを支える構造物、港・橋・道路など社会資本になって人々の暮らしを支えています。また、社内外から多くの廃棄物を受け入れ、セメントを製造する工程で原料や熱エネルギーとして利用しています。社会に開かれたリサイクルを実現し、限りある資源を有効に活用する循環環境型社会の形成に貢献しています。

直近の業績推移

■ 売上高 ■ 営業利益



主な製品と用途

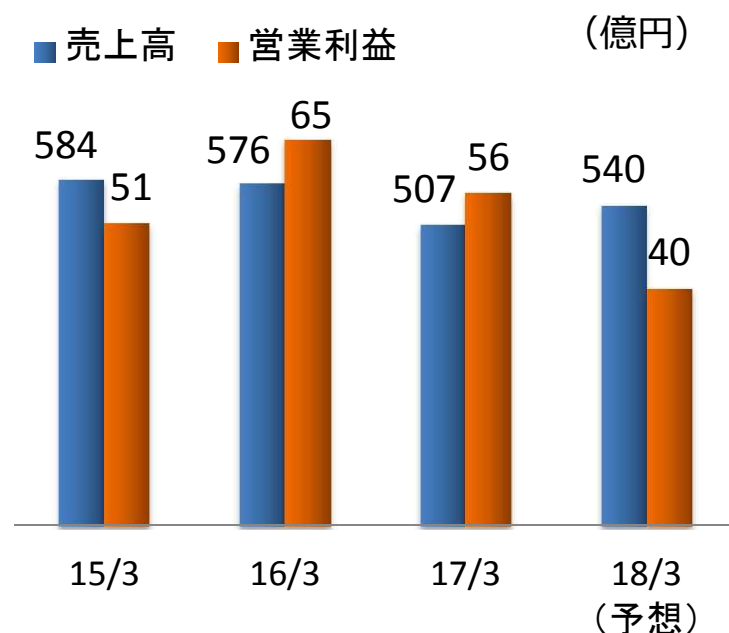
主な製品	主な用途
各種セメント 生コンクリート	土木建築等のセメント材料
廃石膏ボード リサイクル	100%再利用可能な石膏

セグメント別事業内容・売上高・営業利益

ライフアメニティー

人々の生活の利便性・安全性・快適性に貢献できる性格の製品を取り扱っており、一般消費者との距離が近いのが特徴です。主にトクヤマ本体の事業とはシナジー効果という面で関連性の薄い独立事業会社、N F 事業、ファインケミカル事業が属しています。

直近の業績推移



主な製品と用途

主な製品	主な用途
フォトクロミック材料	調光レンズの原料
医薬品原薬・中間体	ジェネリック医薬品の原薬
微多孔質フィルム	紙おむつ用バックシート
ポリオレフィンフィルム	食品包装用フィルム
医療診断システム・試薬	臨床検査機器
歯科器材	歯科医療用器材
樹脂サッシ	高断熱サッシ
イオン交換膜	海水濃縮設備

海外主要拠点

(2017年6月1日現在)

Europe

トクヤマヨーロッパ (ドイツ)

America

トクヤマアメリカ (アメリカ)

Asia・Oceania

天津徳山塑料 (中国)

徳玖山国際貿易 (上海) (中国)

上海徳山塑料 (中国)

徳山化工 (浙江) (中国)

トクヤマアジアパシフィック (シンガポール)

トクヤマエレクトロニックケミカルズ (シンガポール)

台湾徳亞瑪(股) (台湾)

トクヤマニューカレドニア (ニューカレドニア)

韓徳化学 (韓国)

トクヤマコリア (韓国)

種類株式（優先株）の償還

トクヤママレーシアの譲渡完了及び今後純資産の相応の回復、充実が図られる見込みであることから、ジャパン・インダストリアル・ソリューションズに発行している優先株の全部（発行総額200億円）を、金銭を対価とする償還を決定。
2017年6月14日に優先株全株の取得、消却を完了。

特殊品セグメント

ICTの進化を支えるトクヤマの半導体関連製品

